



Chromebook を活用した「3年間の思い出」のスピーチと評価
(New Horizon English Course 3 Let's Listen 6 中学校生活の思い出)

- ①話・発
- ②協・整
- ②評価
- ③タブ
- ④ロイロノート

【ここがポイント！】

「ロイロノートの活用」
 ①「3年間の思い出」をスピーチするために、ペアで共有ノートを活用し、お互いに3年間の思い出を引き出すための質問を10問作成して、質問に答え合う。その質問をヒントに、スピーチする3年間の思い出の内容を考え、自分のスピーチのメモを作る。
 ②ペアの共有ノートに自分のスピーチを録音する。お互いに録音したものを聞き、分かりにくいところなどを共有して改善していく。

【実践の目標】

「3年間の思い出」について、自分の経験や具体例、自分の考えを添えてALTに分かりやすく伝えることができる。

【実際の場面】

1. 相手への質問を作成する
 3年間の思い出を引き出すために、お互いに10問の質問を考えてペアのシートに記入する。

2. 質問に答える
 お互いが考えた質問に理由を添えて答える。3年間の既習事項を用いて答える。



3. クラスで共有する
 質問事項や答え方について、既習事項を用いて分かりやすく表現しているものをテレビ画面に映し出し、クラス全体で共有する。

4. スピーチメモを作成する
 ペアのシートから自分のシートに移り、自分のスピーチのメモを作成する。スピーチメモには自分の体験や具体例及び考えや理由などを添える。

5. ペアでスピーチの練習をする
 メモを見ながらペアの共有ノートにスピーチを録音し、相手に聞いてもらう。自分でも聞いて振り返りをするとともに、相互評価によって改善点を出し合い、スピーチの質を向上させる。

6. ペアを変えて練習する
 最初のペアでのアドバイスを参考にして、ペアを変えて別の人との共有ノートにスピーチを録音する。その後、お互いに振り返りや評価を行い、スピーチをより分かりやすいものに改善する。

7. 評価を行う
 スピーチメモと録音したものを提出させ、評価を行う。

【成果と課題】

【成果】
 ○共有ノートを活用することで、席が離れている生徒とのやりとりや音声をお互いに聞き合うことができ、質の高い練習をすることができた。
 ○英語の発音に自信がない生徒も録音し直して提出できることで意欲的に取り組むことができた。

【課題】
 ○Google 翻訳などの使用場面を考えて活用していきたい。
 ○書くこととのバランスを考えてICTを活用していきたい。